

No.41 (新) サンプルサイズについて学ぼう! ~最適なサンプルサイズで成果を引き出す~

〔対象〕 設計、生産技術、製造、品質保証のスタッフ

〔特徴〕 統計的データ解析を進める上でサンプルサイズに関する知識は欠かせません。適切なサンプルサイズを知ることで、調査結果がどれだけ信頼できるかが判断できます。無駄な調査を避け、必要最小限のデータで十分な精度を得られるようにもなります。では、平均値を計算する際の最適なサンプルサイズは幾つでしょう。本研修においては、平均値だけでなく、工程能力指数などの最適なサンプルサイズ、実験計画法の要因配置実験の最適繰り返し数について学びます。

〔カリキュラムと開催日〕 開催時間は13:30~16:30

講	内容	開催日 (第3回) ※オンライン研修
1	1. はじめに (1) サンプルサイズとは、その重要性について (2) データ解析におけるサンプルサイズの現状 (3) 各種分布について…サンプルサイズ検討事前準備 正規分布、歪んだ分布、離散分布 (4) 基本統計量の点推定、区間推定…サンプルサイズ検討事前準備 2. サンプルサイズ設計の進め方 (個人演習有) (1) 区間推定を用いたサンプルサイズ 平均値、標準偏差、工程能力指数 C_{pk} (2) 統計的検定のサンプルサイズの計算方法 (3) 実験計画 (要因配置実験) のサンプルサイズ (繰り返し数) 3. 小さいサンプルサイズでデータ解析する方策 (個人演習有) (1) 標準偏差の計算 (2) 工程能力指数 C_{pk} の計算 (3) 破壊強度のデータ解析	11月18日 (水)

〔講師〕 石田 敬人氏 (うずら経営コンサルタント: 代表 元トヨタ車体 (株))

〔使用ツール〕 Zoom を使用します。1人PC1台でご参加ください。
*各自PCにアプリケーションをダウンロードいただきご受講ください。

〔会費〕 会員: 11,800円 (税込) 一般: 14,100円 (税込)

鈴木

★開催日は都合により変更する場合があります。直近のパンフレットで日程の確認をお願いします。